

PRESS RELEASE

森トラストグループ 新イノベーション投資戦略
リキッド
株式会社Liquidへの出資を実施
生体認証による独自の技術で次世代のイノベーションを創出

森トラスト株式会社（本社：東京都港区 社長：伊達 美和子）は、2018年6月に、生体認証による銀行取引や決済サービス、キーレスによる指紋認証入退出管理システム等の次世代のインフラを支えるイノベーションを創出する株式会社 Liquid への出資を行いましたので、お知らせいたします。

森トラストグループは、中長期ビジョン「Advance2027」における新規投資事業およびイノベーション創出の第一弾となる、投資総額 200 億円の「新イノベーション投資戦略」を 2017 年 10 月より推進し、都市開発事業者として AI や IoT を活用した新たなライフスタイルや多様な働き方の創出を目指しております。

この度出資しました株式会社 Liquid は 2018 年に、経済産業省によるスタートアップ企業の支援プログラム、^{ジェイ スタートアップ}「J-Startup」*の特待生「J-Startup 企業」に選出されています。

今般の出資により、両社の業務提携の協議を進め、当社の保有するビルや住宅、ホテル等のセキュリティへの導入や、グループで運営を行うホテル・レストラン等の決済サービスでの活用等、株式会社 Liquid が有する生体認証技術や IoT を活用したソリューションの提供を検討してまいります。

今後も当社グループは、コーポレートスローガン「Create the Future」のもと、イノベティブなビジネス環境の提供や投資などを通じ、様々な形でのスタートアップ企業の支援を推進することで、未来を見据えた新しい事業の創出を目指してまいります。

*日本のスタートアップ企業から世界で戦い勝てる企業を生み出し、革新的な技術やビジネスモデルで世界に新しい価値を提供することを目的とした、スタートアップ企業の支援プログラム



LIQUID

クラウド型本人認証・決済サービス、指紋認証スキャナー イメージ

株式会社Liquid ^{リキッド} 会社概要

生体情報にフォーカスした画像解析技術と機械学習を利用したビッグデータ解析技術により、高速処理を可能にした認証アルゴリズムを独自に開発。また、世界で初めて生体認証のみでの本人認証・決済サービスの商用化に成功するなど、次世代の社会インフラを支える技術を創出。

今後、ヒトがインターネットにつながる時代（IoP：Internet of Persons）の創出を軸に、生体認証による新サービスをオフィスシーンだけでなく日常生活のあらゆるシーンへ拡大し、社会全体の認証プラットフォームとして更なる利便性の向上を目指している。

会社名：株式会社 Liquid

設立：2013年12月

代表者：代表取締役 久田 康弘

事業内容：画像認識エンジンの研究・開発

生体照合端末の企画・開発・製造

タブレット型レジの企画・開発・販売

主な製品：^{パス}「PASS」生体認証による銀行取引・決済サービス

^{リキッド キー}「LIQUID Key」キーレスの指紋認証入退出管理システム

^{リキッド リーダー}「LIQUID Reader」店舗が独自で分散型台帳によるトークンを発行可能にする決済サービス

森トラストグループ 「新イノベーション投資戦略」

森トラストグループは、2016年6月に発表した中長期ビジョン「Advance2027」において、新規投資事業やイノベーション創出の積極的な推進を方針の一つに掲げています。

2017年10月より、総額200億円の投資枠を設け、スタートアップ企業の活動拠点となるコミュニティスペースの整備や、不動産とITを融合させた^{リテック}「Re-Tech」、観光やホテルとITを融合させた^{ホスピテック}「Hospi-Tech」を中心に直接投資を行うCVC活動のほか、M&Aやベンチャー・キャピタルへの出資を推進しています。

森トラストグループ 「新イノベーション投資戦略」における3つの柱と取り組み事例

①コミュニティスペースの整備

スタートアップ企業の活動拠点「dock-Toranomon」を^{ドック トランオモン グループ}Creww株式会社と共同運営し、大企業とのコラボレーションを支援する取り組みを行っています。

②CVC活動の推進

イノベティブなホスピタリティ関連企業3社へ出資を行っています。

・株式会社ファーストキャビン ・株式会社エアウィーヴ ・マーズ株式会社



FIRST CABIN

airweave



MRSO

③ベンチャー・キャピタルへの出資

「Re-Tech」等の不動産や物流等の従来の市場にITを融合させたスタートアップ企業を重点投資先としているベンチャー・キャピタルの^{スパイラル ベンチャーズ ジャパン エルエルピー}Spiral Ventures Japan LLPが組成する^{スパイラル ベンチャーズ ジャパン ファンド}Spiral Ventures Japan Fund 1号投資事業有限責任組合への出資を行っており、当ファンドは総額70億円にて組成を完了しています。